



# 老上学区の健幸かるて（令和7年度版）

【令和7年12月作成】 草津市人とくらしのサポートセンター 地区担当保健師



## 1. 人口構成と世帯数(R7.4.30) ※市と比較して区分割合が高い項目に着色

年齢区分	0~14歳		15~64歳		65歳以上		計(人数)	世帯数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
志津	2,482	17.4%	9,318	56.1%	2,505	17.5%	14,305	6,323
志津南	1,275	18.7%	4,012	58.9%	1,527	22.4%	6,814	2,585
草津	1,630	13.6%	7,604	63.4%	2,752	23.0%	11,986	5,817
大路	1,498	12.5%	8,043	67.1%	2,438	20.4%	11,979	5,748
矢倉	1,143	12.0%	6,107	64.0%	2,286	24.0%	9,536	4,489
渡川	1,283	13.4%	6,491	67.6%	1,827	19.0%	9,601	4,625
老上西	1,406	16.1%	5,471	62.7%	1,855	21.2%	8,732	3,467
老上	2,603	20.1%	8,258	63.7%	2,103	16.2%	12,964	5,823
玉川	1,307	10.5%	8,765	70.5%	2,354	18.9%	12,426	6,793
南笠東	735	9.5%	5,128	66.6%	1,836	23.8%	7,699	4,192
山田	929	11.9%	4,492	57.6%	2,380	30.5%	7,801	3,530
笠縫	1,546	13.8%	6,295	56.3%	3,337	29.9%	11,178	4,963
笠縫東	1,593	14.6%	6,466	59.4%	2,827	26.0%	10,886	4,916
常盤	642	13.3%	2,642	54.7%	1,549	32.1%	4,833	1,913
草津市	20,072	14.3%	89,092	63.3%	31,576	22.4%	140,740	65,184

## 4. 高齢者の状況

(※③は、40~64歳の第2号被保険者も含む)

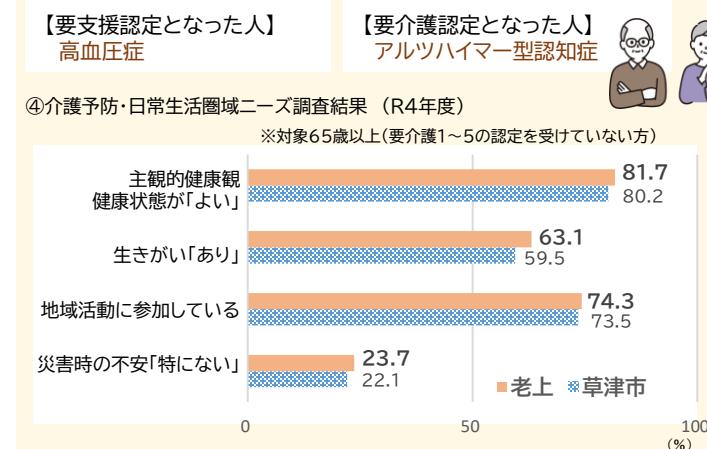
### ① 単身高齢者の割合(R7.4)



### ② 介護認定率 (R7.4)

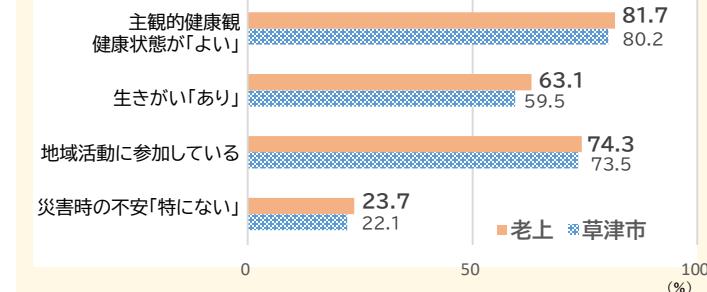


### ③ 介護が必要となった原因で最も多い疾患(R1~R2新規申請者)



### ④ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果 (R4年度)

※対象65歳以上(要介護1~5の認定を受けていない方)



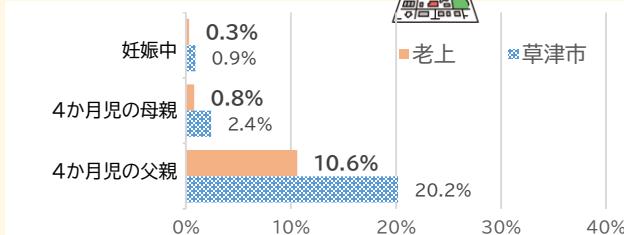
## 2. 妊娠・出産・子育て(乳幼児健診問診結果)

### ① 育児に対する今の気持ちに近いフェイススケールの割合 (R6年度)



フェイススケール	1 2 3 4 5 6							
	1歳6か月児	老上	55.6%	27.8%	13.7%	2.0%	0.5%	0.0%
草津市		52.4%	30.4%	14.3%	1.4%	1.1%	0.3%	
4か月児		65.1%	26.7%	6.7%	0.1%	0.3%	0.2%	

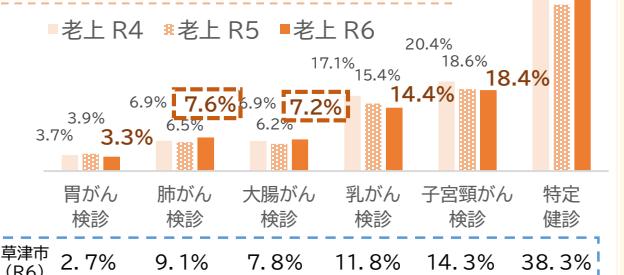
### ② 喫煙状況 (R5~6年度:4か月児健診時)



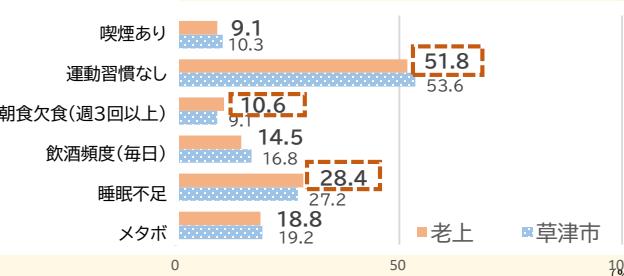
## 3. からだの健康・生活習慣

### ① 市が実施しているけん診の受診率推移 (R4~6年度)

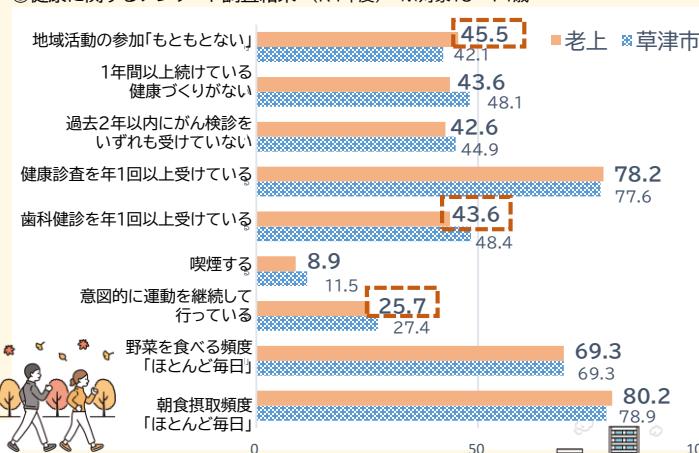
受診率については、市が実施しているがん検診および草津市国保加入者を対象とした特定健診の受診率です。



### ② 特定健診問診・検査結果 (R6年度)



### ③ 健康に関するアンケート調査結果 (R4年度) ※対象18~74歳



## 5. 地域資源(地区組織活動・社会資源等)

子育てサークル・ 拠点施設	5か所	スーパー	3か所
地域サロン	9か所	コンビニ	3か所
医療機関	医科: 10か所	歯科: 4か所	ドラッグストア
薬局	7か所	町内会	9

## 地域の目指す姿(目標): 老上学区の住民が、地域の資源や活動を知り、つながりを深め、主体的に健幸づくりに取り組むことができる。

### 地域の特性と健康課題

・駅前マンションに住む単身高齢者や、新興住宅地へ転入してきた子育て世代等の生活実態がみえにくく、地域のつながりの希薄化がすすんでいます。また、地域活動に参加しない人も多く、扱い手不足の問題もあります。

・介護保険新規申請の原因疾患は要支援認定が高血圧、要介護認定がアルツハイマー型認知症となっており、高血圧予防、動脈硬化予防など生活習慣に気をつけることが重要になります。また、認知症に関する困りごとを早期に相談できる風土の醸成も必要です。

### 健康課題の解決に向けた取組方針・活動状況

・スポーツイベント、地域サロン、商業施設などで健康測定会や健康講座を行い、幅広い世代に健幸への意識づくりを行っています。

・子育てサークルや拠点施設では、女性特有のがん検診の啓発を行い、個別相談を通じて困り事を聞くなど実態の把握に努めています。また地域の住民とともに、楽しく子育てできる仕組みづくりについて検討しています。

・関係機関と連携し、カフェほっこりでフレイル予防や相談窓口の啓発を行い、介護予防について気軽に相談できる意識づくりを行っています。